

サグラダファミリア教会

スペインのバルセロナで、後に建築家のガウディが設計を引き継ぐサグラダファミリア協会の建設が始まったのは1882年です。同じ年東京では日本銀行が産声を上げました。日本橋本石町に今も残る本店本館が着工から5年半の時を経て完成したのは96年でした。

設計は明治、大正期を代表する建築家の辰野金吾氏が担いました。通貨の価値を守るという日銀の使命を体現する建築とは何か。辰野氏は1年2ヶ月をかけて欧米各国の中央銀行などを訪ね歩いた。英イングランド銀行やベルギー国立銀行に着想を得て設計した日銀の本店本館は「通貨の番人」に相応しい威厳と風格をたたえている。

日銀は15～16日の金融政策決定会合で利上げに踏み切りました。政策金利は1%と実に31年ぶりの高さになります。中東危機で勢いを増す物価高が市井の生活を脅かすなか、利上げが遅すぎるとの声も聞かれます。

金融政策によって通貨の価値を守れるのか。自らの存在意義を問われる日銀を辰野氏の建築が静かに見守る。日銀と「同い年」のサグラダファミリアでは10日、主塔である「イエスの塔」の完成を祝う式典があった。世界は着工時を思わせる不穏な空気に覆われ、力の論理がまかり通る。各地で激しくなる戦火はインフレを招き、人々を苦しめる。同時代を駆け抜けたガウディと辰野氏が夢見たであろう世界は遠のきつつある。

鎌野



やせ薬マンジャロ

今、巷で話題となっている「マンジャロ」という糖尿病の治療薬を、ご存じですか？ 40代の頃から高血圧・糖尿病の薬を飲んでいる私も、高血圧の方は薬のお陰で安定しています。歳をとるにつれて毎月行う血液検査の糖尿病の数値が悪くなり、今年の初めから主治医に糖尿病の治療薬マンジャロを処方されております。週に1回、自分で注射を打つのですが、体を薬に慣らすために最初は2.5mgのマンジャロで、だんだんと液量を増やしていき、現在は7.5mgを打っております。使い始めて半年が過ぎ、およそ月に1kg程度体重が減り、血液検査の数値も良くなってきています。最終的には12.5mgまであるみたいですが、様子を見ながら徐々に液量を増やしていくようです。

マンジャロの有効成分であるチルゼパチドは脳の食欲中枢に作用し、満腹感を持続させます。注射後、早い方では数日以内に「お腹が空しくなくなった」「間食したい気持ちが減った」といった変化を感じることがあります。これは胃の排出速度が遅くなるためで、甘いものや脂っこいものへの欲求も自然に弱まることがあるそうです。確かに前ほどお腹が空かず、食欲が湧きません。食べなくても平気なのですが、やはり何も食べないわけにはいかないので、3食べていますが、確実に量は減っています。非常に良い薬なので、私の

知る糖尿病仲間も皆だいたいマンジャロを処方されています。ただ高価な薬なので、月に1回病院に行き4週間分の他の薬を含めて貰うと、12,000円くらい私は支払います。3割負担でこの値段ですが、2.5mgがMAXの12.5mgになると更に支払いが増えるでしょうね。病院側も効果があり高価なので、非常に奨めてくる薬なのです。正に、地獄の沙汰も金次第です。

問題になっているのは、この薬の適用外使用です。若い女性がやせ薬として使用して結果、痩せますが体調を崩している例が多いそうです。そして最近の研究結果では、マンジャロを止めるとリバウンドが激しく、更に太りやすい体質になってしまうとのことです。ということは、麻薬と一緒に止められなくなる恐ろしい薬とも言えますね。私、現在110kgぐらいですが、来年には100kg切るのが目標です。

英樹



配り

第
325
便

勝亦製材駿河鉄骨(株)

住まい塾御殿場教室

TEL (0550) 87-0048

FAX (0550) 87-1237

〒412-0035 御殿場市中山518番地

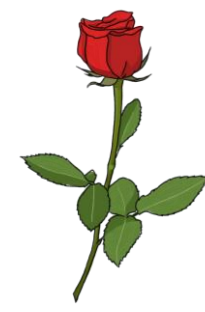
竹林薫風抜けてパコパコと
ざわめく音に掘る手を止める

ねがみともみ



梅雨寒にとまどうバラが二分咲きを
ゆるめぬままに緋の色のぞかす

勝亦りつ子



寝不足の日々

先月号冒頭にて私が管理しているヒメボタルの発生時期が早まるかも、という事を書きましたが、シーズンインした二の岡のヒメボタルはこの3年で一番出足の鈍い発生となっています。初確認が12日で、14日の観察路オープンから数日は数匹の発生にとどまり、飛翔開始時刻が前年の21時頃から今年は23時頃とずいぶん遅い時間となっていました。

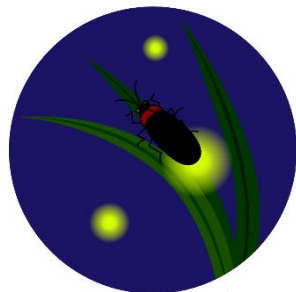
もしかして生息地管理の仕方になにか問題があったのではないかと数日は肝を冷やしていましたが、6/23日には例年通りかそれ以上の飛翔が見られ、発生時刻も次第に早まってきました。とりあえず一安心といったところです。私は6/14以来每晚二の岡の観察会場に詰めています。観察路オープンの日より多くの鑑賞のお客さん、カメラマンが訪れ、ヒメボタルの輝きに心躍らせ歓声を上げています。それを観ていると環境整備に奔走した一年が本当に報われます。

今年も7/6までは観察路の開放を行います。夜行性のヒメボタルに出会うには少々夜更かしをしなければなりません、ぜひ美しい光の舞を観に来ていただきたいと思います。

そして今年は4年に一度のサッカーワールドカップ。北中米開催という事でライブの中継は日本時間の夜放送、深夜帯が多いようです。日本代表他注目カードはやはりライブで観たい。24時までホテルのガイド、帰宅して試合観戦、キックオフのホイッスルは聞くものの気付けばハーフタイムだったりすることも。もうほとんど寝てしまって試合の記憶はありません(笑)

7月初旬まではこんな生活が続きそうですが、自分が選んだ好きなことの苦勞なので、どうにかこうにか頑張っていけそうです。

柳田敏和



「チャッピー」と「ジェミニ」

近頃耳にする生成AI「チャッピー(chatGPT)」と「ジェミニ(Gemini)」。なんでも聞けば否定せずに答えてくれるのだそう。どこかの監督さんが親子間のけんかで警察に連れていかれた話は記憶に新しい。この時親子喧嘩して子が相談したのがAI。AIは素直に？相談窓口を教えてくれたので、相談してみたところ、警察沙汰になった。というように私は受け止めた。

“賢い人が使うAIほど賢い。恐ろしいことは逆もまた然りである”とどこかに書いてあった。以前、方向音痴の三人組でさわやかウォーキングに出かけた話を紙面に載せたがその中の一番しっかりしている人抜きの2人で伊豆稲取へ出かけた。「チャッピー」と共に。行先や食事など疑問に思うことは「チャッピー」に聞く。先ほどの賢い人が・・・の言葉が耳に痛い。使いこなせない。いや違う。質問の仕方が悪いのだ。「チャッピー」も相手を学習するのだそうです。賢さを学習するんだろなあ。目的地に行くにはナビがあれば着くはずだが、アナログに人に聞いてみる。親切に教えてくれる。紙の地図を持たせてくれながら近道を教えてくれる。紙の地図を見ながら「あっちだこっちだ」。などと歩いていると「どうしました？近くまで行きますから、一緒に行きましょう」。と言ってくれる。都会ならこの人アブナイと警戒するが、田舎では、いい人になる。駅でも駅員さんにスマホ片手にこの電車に乗っていいのか？などと低レベルな質問をしても、「そうそう分かりにくいよね、この書き方」と教えてくれた。親切な人ばかりだったねえ。と、またどこか行こうと笑顔で稲取を後にした。「チャッピー」の事はすっかり忘れていた。AIは便利だと思う。使っておこうとも思うが、“恐ろしいことは逆もまた然り”を肝に銘じておかないと。「チャッピー」は「そんなことまで聞くんかい！自分で考えろ」。と答えるように学習させれば、そう答えるのだろうか？面白そう・・・。

ねがみ



富士山木のおもちゃ美術館

いよいよ8/8(土)、富士山樹空の森の敷地内に「富士山木のおもちゃ美術館」が開館します。おもちゃといっても子供だけの施設ではないのです。東京木のおもちゃ美術館の監修のもと、木のぬくもりに触れる「木育」を通じて0歳から大人まで楽しめる多世代交流な施設です。グッド・トイ賞を受賞した質の高いおもちゃや、富士山・御殿場地域の文化を活かしたオリジナルおもちゃが館内いっぱい用意されています。大わらじや茅葺屋根の小屋も展示されているそうです。子供はたくさんのおもちゃにワクワクと、年配の方には懐かしい出会いがあるのではないのでしょうか。一度は遊びに行ってみてください。

遊び方をサポートする「おもちゃ学芸員」と呼ばれるボランティアスタッフがいますが、私もその一人です。先日、おもちゃ学芸員出発式にも参加してスタッフ用の赤エプロンを受け取ってきました。7月後半からプレオープンも始まります。今から楽しみです。

祥子